

平成27年度 学力向上アクションプラン

尼崎市立浦風小 学校

<p>学力調査結果等から見た 学力向上についての課題</p> <p>①児童は、何事にも前向きに取り組み出したが、学習への意識と根気よく繰り返し学習する習慣がついていないために、学習した知識が定着していない。26年度6年生全国調査での本校の平均点は、全ての教科が国の平均点以下であった。</p> <p>②生活時間では、テレビ・ゲームに費やす時間が多く、予習復習・読書をしている児童は1割以下である。学習習慣や学力定着率に課題がある。</p> <p>③学力向上のために家庭との協力体制をとりながら、教師の指導力・授業力向上を図り、児童にいかにかわかる喜び・できる楽しさを味わわせることができるように取り組む。</p>	<p>課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)</p> <table border="1"> <tr> <th data-bbox="593 239 974 279">授業力向上への取組</th> <th data-bbox="974 239 1321 279">学習習慣定着に向けた取組</th> <th data-bbox="1321 239 1637 279">その他の取組</th> </tr> <tr> <td data-bbox="593 279 974 857"> <p>①全員が年1回以上公開授業を行い、事後研究会を行う。</p> <p>②学力定着委員会を中心にアクティブ・ラーニング、一方的に知識を教えるだけではなく、主体的に問題を発見し、解を解いていく能動的な学習方法の積極的な企画・提案実施を行う。</p> <p>③「わかる授業＝楽しい授業」の実現のため全員公開授業を行う。</p> <p>④対外的な研修会に積極的に参加し、教師力を高める。</p> </td> <td data-bbox="974 279 1321 857"> <p>①学習タイムは、朝「漢字」、昼は「計算」を実施し、基礎学力の定着を図る。</p> <p>②3年生以上には積極的に辞書活用を行い、自分で調べ、考える学習を進める中で語彙を増やし、言語力を高め、学習意欲を育てる。</p> <p>③高学年では、新学習システム兵庫型教科担任制を実施し、学習の意欲関心を深めさせ、学力の定着をはかる。</p> <p>④尼崎市クリエイト事業放課後学習により学習のつまづきを解消するため週2日放課後学習を実施。</p> <p>⑦家庭学習の定着をはかるため、学習の手引きなどを利用し、啓発活動や家庭への支援を一層進める。</p> </td> <td data-bbox="1321 279 1637 857"> <p>①学力クリエイト事業の学力向上担当者と連絡・連携を密にし、低・中学年の児童が、落ち着いた学級の中で基本学力をつけさせ、学習時間にリカいできるよう指導法の工夫をする。</p> <p>②心の教育を充実させ、よい人間関係をつくり落ち着いた学習環境をつくる。</p> </td> </tr> </table>	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	<p>①全員が年1回以上公開授業を行い、事後研究会を行う。</p> <p>②学力定着委員会を中心にアクティブ・ラーニング、一方的に知識を教えるだけではなく、主体的に問題を発見し、解を解いていく能動的な学習方法の積極的な企画・提案実施を行う。</p> <p>③「わかる授業＝楽しい授業」の実現のため全員公開授業を行う。</p> <p>④対外的な研修会に積極的に参加し、教師力を高める。</p>	<p>①学習タイムは、朝「漢字」、昼は「計算」を実施し、基礎学力の定着を図る。</p> <p>②3年生以上には積極的に辞書活用を行い、自分で調べ、考える学習を進める中で語彙を増やし、言語力を高め、学習意欲を育てる。</p> <p>③高学年では、新学習システム兵庫型教科担任制を実施し、学習の意欲関心を深めさせ、学力の定着をはかる。</p> <p>④尼崎市クリエイト事業放課後学習により学習のつまづきを解消するため週2日放課後学習を実施。</p> <p>⑦家庭学習の定着をはかるため、学習の手引きなどを利用し、啓発活動や家庭への支援を一層進める。</p>	<p>①学力クリエイト事業の学力向上担当者と連絡・連携を密にし、低・中学年の児童が、落ち着いた学級の中で基本学力をつけさせ、学習時間にリカいできるよう指導法の工夫をする。</p> <p>②心の教育を充実させ、よい人間関係をつくり落ち着いた学習環境をつくる。</p>	<p>本年度の具体的な目標</p> <p>①全学級で「わかる授業＝楽しい授業」に取り組み、「授業が楽しくない」と思う子をゼロにする。</p> <p>②課題を持っている児童の学習意欲を高め、全員が基礎的な内容を理解できることを目標にし、活用する力もつけていく。</p>
授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組						
<p>①全員が年1回以上公開授業を行い、事後研究会を行う。</p> <p>②学力定着委員会を中心にアクティブ・ラーニング、一方的に知識を教えるだけではなく、主体的に問題を発見し、解を解いていく能動的な学習方法の積極的な企画・提案実施を行う。</p> <p>③「わかる授業＝楽しい授業」の実現のため全員公開授業を行う。</p> <p>④対外的な研修会に積極的に参加し、教師力を高める。</p>	<p>①学習タイムは、朝「漢字」、昼は「計算」を実施し、基礎学力の定着を図る。</p> <p>②3年生以上には積極的に辞書活用を行い、自分で調べ、考える学習を進める中で語彙を増やし、言語力を高め、学習意欲を育てる。</p> <p>③高学年では、新学習システム兵庫型教科担任制を実施し、学習の意欲関心を深めさせ、学力の定着をはかる。</p> <p>④尼崎市クリエイト事業放課後学習により学習のつまづきを解消するため週2日放課後学習を実施。</p> <p>⑦家庭学習の定着をはかるため、学習の手引きなどを利用し、啓発活動や家庭への支援を一層進める。</p>	<p>①学力クリエイト事業の学力向上担当者と連絡・連携を密にし、低・中学年の児童が、落ち着いた学級の中で基本学力をつけさせ、学習時間にリカいできるよう指導法の工夫をする。</p> <p>②心の教育を充実させ、よい人間関係をつくり落ち着いた学習環境をつくる。</p>						

校種間連携

①生徒指導申し合わせ事項を確認・指導。
②トライやる・ウィーク中、中学2年生の教室で小学6年生が授業体験を実施。
③入学前テストの検証、小中における授業の改善の研修
④合唱コンクール等を見学。
⑤夏季合同研修会・研究授業・講演会に積極的に参加し、情報交換をする。

活用する支援内容

支援内容	具体的内容
(1)児童生徒支援	・放課後学習を1日あたり2時間、週2回実施。 ・夏季休業期間(年度当初は、計画していたが校舎建て替えに伴い検討中)
(2)教員指導力向上支援	・研究授業(滋賀大学教育学部 辻 延浩教授 5回) ・研究発表参加(学び合い)
(3)地域人材活用支援	・地域、図書ボランティアを活用する。
(4)学習習慣支援	・自主学習ノート作成
(5)その他	・朝と昼の学習タイム設定。火・木曜日の朝は、読書タイムとする。

家庭・地域との連携

①保護者・担任による懇談会を実施。
②登下校指導・花の栽培、鯉の飼育等の地域ボランティア参加を促し、地域社会で児童を育む環境をつくる。
③学校だよりを地域にも配布。ホームページを適時更新。
④管理職中心に地域のパイプ役になり地域の連携・協力体制をつくる。